令和３年度　　学校評価報告書

学校番号（ 中32 ） 長崎市立小ヶ倉中学校

１ 教育目標

○ 心豊かで、自ら考え行動できる生徒の育成。

【校訓】 ○自主　○勤労　○敬愛

【経営スローガン】 「努力夢現」　～努力を続けることで、夢や目標が実現・達成できる学校～

２ 学校経営方針

知・徳・体の調和のとれた品性のある人間形成を目指し、主体性を確立する「立腰教育」を基盤に学校経営に創意工夫をこらし、個性を生かし、生きる力と夢実現を育む学校教育の確立に努める。

（「立腰教育」…礼を正し、場を清め、時を守る。　「自他肯定感の高揚」）

３ 重点目標

（1） 確かな学力の向上
（2） 生徒指導・教育相談の充実
（3） 健康・安全教育の推進
（4） 教育環境の整備
（5） 開かれた学校づくりの推進
（6） 働き方改革に向けた職場づくり

４ 自己評価

領域	項目	質問内容	アンケート集計 肯定的割合（%） 生徒	保護者	教職員	分析及び改善策
学校経営	教育目標	教育目標を達成している	93	94	100	教育目標は、校内の多くの場所に掲げ、」生徒、職員が常に見えるように工夫している。職員が目標を意識した言葉かけを行うことで、生徒の意識も高まったように感じる。学校の雰囲気は、三者とも高い評価を得ることができた。昨年より学びの場が『楽しい』ポイントが上がり、100%に近づけたことは何よりも評価できる。この基盤となるものを今後も継続させたい。また、業務改革は可能な限り進めているが、昨年度を下回ってしまった。昨年大きな改革後だった反動ではないかと考察できるが、さらに業務改善を図りたい。保護者の方は、コロナ禍で、学校への来校する機会が激減したことがマイナスの要因と考えられる。引き続き学校だより等で周知し、生徒の『夢』の実現に向けて教育活動を推進していきたい。
	学校の雰囲気	明るく楽しい雰囲気である	99	98	100	
	組織運営	校務分掌は責任体制が明確で、適切に機能している			93	
	業務の改善	校務の縮減・効率化等、業務の改善を推進している			86	
心の教育	生活・生徒指導	ルールやマナーを身に付けている	95	92	93	全体的に高い評価であったが、昨年よりも低下している項目もあった。コロナ禍で、マスク着用の影響もあり、挨拶の項目等人との関わり等変化しているように感じている。しかしながら、『挨拶』については、昨年度の数値より三者とも減少したが、地域の方より『中学生の挨拶が爽やかで素晴らしい』とお褒めの声が多数ある。今後も家庭内、校内、地域で率先して挨拶ができる生徒、社会に通用する生徒を育てていきたい。昨年度低かった平和教育に関しては、平和ボランティアの活動もあり、保護者、職員でポイントが上がったが、生徒のポイントが減少したことは、コロナ禍で、例年より規模を縮小した平和活動になったことに起因するが、全生徒が主体的な学習の取り組みとなるよう今後工夫する必要がある。 今年度も毎月の生活アンケート、定期の教育相談（二者面談）はもとより、生徒のわずかな変化を見逃さないように日常の生徒観察をさらに強化し、家庭と連携して生徒の心の教育の充実を図った。さらに個に応じた教育活動の展開を目指していきたい。
		挨拶をよくしている	96	90	86	
		「あ・は・は運動」を知っている（小学校のみ）				
		教職員は悩みや相談に親身に対応している	93	94	100	
	いじめ防止対策	学校はいじめ防止のための対策をとっている	96	92	100	
	人権教育	生命や人権を尊重しようとする心が育っている	96	92	93	
	平和教育	平和の大切さを感じ、その思いを発信しようとしている	92	87	86	
	特別支援教育	学校は教育的ニーズに応じた教育を行っている	94	94	100	
確かな学力	特色ある学校づくり	伝統や校風の実態に即した教育を行っている	95	92	86	『特色ある学校づくり』では一昨年記念式典事業もあり向上したが、今年度は、学校との関わりができず、保護者の中からも「よくわからない」とのご意見が多かった。『分かりやすい授業』を目指しては、年間を通じて研修を重ねてきたことで生徒職員で高評価を得ることができた。今後も継続していきたい。『家庭学習』については、保護者が求めるところにまだまだたどり着いていない状況となった。特に1年生が昨年と比べ低下しており、生徒の意識向上を目指す必要がある。学校として毎日の提出確認、添削指導を強化していきたい。家庭では学習時間の確保をお願いしたい。『キャリア教育』については、昨年度からさらに評価が低くなった。これもコロナ禍で、職場体験、職業講話等予定のカリュキュラムを消化することが原因と考えられる。キャリアパスポートを活用し、系統的なキャリア教育を展開していく必要性を感じている。
	学習指導・教育課程	わかりやすい授業を行っている	97	90	100	
		家庭学習の習慣が身に付いている	79	63	86	
	キャリア教育	将来の自立に向けて適切に指導している	71	76	100	

健やかな体	保健・衛生	衛生管理に努め、健康に関する教育を行っている	96	94	100	『衛生管理』の評価が高かったのは、コロナ禍の状況で、可能な限りの対策を講じていることに起因する。『基本的生活習慣』で『早寝,早起き,朝ごはん』ができていないという生徒が多くなってきた。保護者と連携し、学習・生活の充実を図るために規則正しい生活を心がけるよう指導を強化する。特に夏、冬と2回にわたり部活動の中止が生活のリズムを崩したことも大きな要因かと思われる。『食』に関する指導については小学校の栄養教諭を招聘して講話をいただいた。今後も実施していきたい。
	体力向上	基本的生活習慣が身に付いている	75	82	86	
		体力向上に努めている	91	88	100	
	食　育	食に関する教育活動を行っている	92	90	100	
信頼される学校	安全管理	児童生徒の安全に気を配っている	88	90	100	本年度安全教育の研究校として保護者地域と連携した、安全研修、安全週間の設定、また避難訓練の工夫などを実施し、保護者、職員のポイントは向上したが、中学2年で落ち込んでいる原因を考察する必要がある。もっと生徒の当事者意識を向上させるための安全研修をさらに強化する必要がある。『情報提供』について三者とも昨年度よりも大幅に上昇した。学校通信や修学旅行の様子を随時アップするなど、今後もこまめに更新し、開かれた学校、情報発信に力を入れていく。また、一斉メールの有効活用を検討したい。『育友会・地域との連携』では、コロナ禍において、多くの行事が中止や縮小され、活動がわかりにくいとのご指摘をたくさんいただいた。表には見えなかったが、育友会事務局、各役員に多大なる協力をいただき無事に終了することができた。職員研修でGIGAスクール、新しい評価、安全研修についても毎月実施することができた。
	情報提供	学校の状況は通信やHP等で知ることができる	88	89	100	
	PTA・地区との連携	学校はPTAや地域との連携がとれている	90	96	93	
	職員の資質向上	研修が充実し、資質が向上している			100	
教育環境	環境整備	教育環境が充実し、整備されている	92	97	100	『安全管理』と『環境整備』について、災害への対策は万全を期しているが、校舎の老朽化は否めない。今年度、夏の大雨による被害については、迅速に対応し、大規模な工事を重ね、改修ができてきた。生徒の目に触れることなく実施しているため、老朽の部分が目立っているように感じる。今後も行政と調整し対応していきたい。『職場環境』は高い評価であった。教職員の心身の健康を図り、更なる教育活動の充実を目指す。
	職場環境	学校は働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいる			100	
			91	89	95	

5　自己評価のまとめ（成果・課題・対策等）

・保護者の回収率は70.3パーセント（１月WEB回答）81.5％（９月用紙回答）。回収方法を今年度からWEB回答に切り替えた。集計等効率正確性ともに高まるため今後もWEB回答の周知を続けたい。
・経年比較して三者とも評価が上昇した項目『学校の雰囲気』。三者とも評価が低下した項目『人権教育』『PTA・地域連携』。
・課題として『基本的な生活習慣の確立』があげられる。対策として、規則正しい生活を目指して、毎日簡単な日課表の記録を保護者の協力をえながら徹底して行い、担任とのやりとりをこれまで以上に充実させる。同時に毎日の健康観察への記録、自主学習の提出、時間通りに行動するなど、社会性の向上を目指す。
・『キャリア教育』について、教職員と生徒・保護者の中でのズレが大きい。進路指導＝キャリア教育でないことを周知しつつ、教育目標である“夢”の実現に向けて系統的かつ計画的な指導を目指す。

6　学校関係者評価

・地域での服装の乱れもなく、ｗｓｓあいさつが感心するほど本当によくできている。地域の宝として、故郷を愛し、未来につなげてほしい。反面、コロナ禍の影響で多くの地域行事が中止となり、地域での中学生の姿が見えないことが心配である。大人の一方通行とならないように交流を深めて育てていきたい。（学校評議員）
・低評価になっている部分が心配である。今後の取り組みに期待したい。（学校評議員）
・アンケート結果の肯定的割合が８０％を超える項目が多いことから、地域としても安心して子どもを任せることができる。また、教職員の１００％の数値もあり、教職員が自信をもって教育活動を展開していることが分かる。
・三者とも教育目標（スローガン）をしっかりと意識し、“夢”に向かって邁進している様子が伺える。具体的な対策が明確であり、生徒も取り組みやすいと感じる。
・コロナ禍で大変な苦労であったが、万全の対策を講じ、修学旅行や体育大会等、生徒の思い出に残るイベントを実施できたことは良かった。

7　対策等の見直し（学校関係者評価を受けて）

・学校評価、学校関係者評価（学校評議員会）を受けて、令和４年度に向けて早急に対応すべきもの、時間をかけて検討すべきものを精査し、教育活動の充実を目指す。
・数値の低かったものや、経年比較の結果数値が下がっている項目について重点を置き、令和4年の学校経営を提示し、教職員の共通理解と協同実践を目指す。
・多くの情報を発信することで家庭・地域・学校の連携を図り、生徒の健全育成を図る。